

## 事業所における児童発達支援自己評価結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」松本校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上(常勤換算による算定)しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		車いす利用者様に対しては、職員が協力し運びます。	教室入口まで階段があるため、足元に気を付けるよう見守っています。バリアフリー化が必要です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		消毒や清浄機を設置するなど衛生面に気を付けています。	よりよい環境を整えるために適宜改善していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日朝礼にて職員全員で確認したり、必要に応じて会議を開催しています。	職員全員の共通意識として定着させることが目標です。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様等の意見を参考に業務改善に努めます。	保護者様へ満足度調査アンケートや評価表の記入依頼を行います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		職員間でミーティングを行い、当社HP等にて公開予定です。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。	第三者における外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期研修をするなど、支援の質の向上を目指しています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		共通のモニタリングシートを使用しています。	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様・お子様のニーズに沿って、支援に必要な項目を選択しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ファイルに綴じ込み、都度確認をしています。	日々の支援と照らし合わせながら進めています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		指導員間で支援の情報共有する時間を確保しています。	定期的に子どもの事例を共有・議論する検討会を開催しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、工夫しています。	全員でアイデアを出し、可能な範囲で、効果的に楽しく学べる指導を心がけています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			個別活動を中心に、集団活動もご案内しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を行っています。	職員連携を強化し、保護者様に次の日程等を丁寧に伝えることを目標としています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		朝礼・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を行っています。	職員連携を強化し、保護者様に次の日程等を丁寧に伝えることを目標としています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			指導員が共有しやすい記録を心がけ日々改善しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的なモニタリングに加え毎回のフィードバック時にご要望をお伺いしています。
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		時間帯によって、児童発達支援管理責任者や指導員が協力して参加するなどしています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と連携して支援を行っています。	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	該当なし	必要に応じて、関係機関と連携して支援を行う予定です。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	—	—	該当なし	必要に応じて、主治医や協力医療関係機関等と連絡体制をとります。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援会議に参加し、各園やご家庭と情報共有をしています。	
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		可能な限り、支援者会議等を通して学校での支援方法に関する提案を行っています。	学校担任の先生や特別支援コーディネーターを窓口情報共有を行っています。
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて外部専門家による研修や教材・プログラムの監修を行っています。	研修への積極的な参加を計画しています。
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ご希望や問い合わせがあれば、そういう機会もつくっていきます。	支援の時間が限られているため、現在は活動機会を設けておりません。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉔	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	積極的に参加していきます。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		各支援終了後に、保護者様へのフィードバックの時間を設けています。	更なる共通理解が必要と考えます。教室外部からの情報収集も大切にします。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		支援後のフィードバック時に、家庭での対方法について情報共有しアドバイスしています。	職員がペアレントトレーニングの知識を習得できるよう、研修等の機会をつくります。
	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		毎回の支援終了後に保護者様へのフィードバック時間を確保し、その都度質疑応答しています。	運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			必ず保護者より同意を得た上で支援にあたっています。
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		座談会等の中で、他の親御さんの意見や体験を参考に日々学習しています。	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。座談会等を随時実施して保護者同士の連携を支援しています。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に保護者交流会を実施しています。	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。座談会等を随時実施して保護者同士の連携を支援しています。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談・苦情等に対して、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。	事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用の問い合わせ窓口電話をご案内しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		より松本校のことを知っていただくために、声掛けなどの工夫をしています。	教室内に活動内容やイベントの案内等を掲示しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		口頭での相談や情報共有の際には、周りに十分配慮しています。	個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚や聴覚に働きかける工夫をしています。	ゆっくり丁寧に伝えるよう徹底していきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域に開かれた事業運営を心がけています	お問合せやお誘い等があれば、解放する機会を視野にいれていきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、周知徹底しています。	保護者への周知を丁寧にいきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回の避難訓練を継続しています。	より実践に近い訓練を創意工夫しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬等については、開始と終了・量が変更されたときには、随時確認し情報共有をしています。	面談時に、お子様の状況を確認しています。特にてんかん発作等の頻度や対応方法については慎重に取り扱っています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		指導時に、該当物質との接触が起こらないよう留意しています。	面談時にお子様のアレルギーの有無を確認しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		各自の判断で、積極的に報告する雰囲気づくりを心がけています。	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に関する責任者を定め、管理者・責任者中心に研修の受講を薦めています。	マニュアルを策定し、伝達研修を充実させてまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に口頭にて説明し、必要な場合にはその都度確認しています。	保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、身体拘束に係る同意書を依頼してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者向け児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：平成 年 月 日

事業所名 サポート「きらり」松本校 保護者等数（児童数）6 回収数 6 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				なし	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6				なし	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			2	なし	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6				なし	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6				なし	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			1	なし	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				なし	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5			1	要望をきいて頂いてありがとうございます。	可能な限り要望に対してプログラムが固定化しないよう工夫します。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	2	なし	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				なし	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6				なし	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3			3	交流会で色々な方の意見が聞けて良かったです。	今後も保護者様に喜んでいただけるような場を設けます。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1			なし	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1			なし	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4			2	なし	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5			1	なし	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5			1	なし	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	2		1	なし	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6				なし	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			3	なし	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1		3	なし	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1			なし	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6				なし	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。